

総合科学部40周年記念式典講演会

日時 平成二十六年八月二日（土）
 十一時三〇分～十二時三〇分
 場所 ANAクラウンプラザホテル広島



(株) 准研アノテ絞綿 岡田 大介氏 (昭和53年入学)

「け。ばたけ総科生
 —豊かな社会人生活における大学の学び、こは?—」

が学んだこととよさ
 得たことは大き、分けて三つ、多様性、主性、
 学で岡田生 子びする力です。
 が大学で 子びする力です。
 太がバカリ いてですが、総合科学部は文系、理系問わず 様々な
 私多様性 った学部なので、多くの人と出会い、多様な知 視点と
 そし多様性 入れることができました。
 まの人が集ま 部の教員・職員のオ々は学生に非常に協力的 ぶたら
 立場な思考を手 部ろうとする時は止めるのではなく、どうや こと
 柔軟だ総合科学 考えて下さいませ。そのため学部内は新し 進じて
 まじいことを 極的な気質に溢れています。大挙祭などを 生み出
 か難るかを一緒 げ、チャレンジし、主体的に新しいものを 打ち、
 でき 自ら手を 出 大きな時間軸で物事をとらえ、広い視野を 同で負
 をや は、社会に の るようになりました。大事なことは、短い 勝つ
 得た に、年単位 間で見えた時に盛り返しをはかり、トータル 勝つ
 す力 して行動で 期
 ま いても長い
 内省 いてほしいこと
 けて います。
 こと 総科生に学 ばないといけない」という計算をしなくて、言学ん
 こと 好きな 学 す。人生のある局面において、振り返ると ぶがっ
 ために何を する、そんなシーンに出会います。物事はつか 教養
 強みがあり する、そんなシーンに出会います。物事はつか 教養
 う 映が生きて 迷
 だ経 ますので、
 てい



ん。世の中の知識や情報は陳腐化していきませんが、学びに向
りませ、(何を学ぶか。どう学ぶか)があれば自分の人生
かう力けます。

していふ然と迎える未来」には孤独で貧困な人生が待ち、言葉があり
『「遡く未来」には自由で創造的な人生がある』という学部で、学
的に築くこれからは個人の力が問われる時代です。総合科
ます。る力を鍛えておいて下さい。

【担当】

25 生 小林美月
25 生 渡邊恭平

